

第1回小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

日 時 平成28年8月4日(木) 午後6時55分～午後7時38分

場 所 本庁舎3階 第一会議室

出席委員 7人

委員長 渡 邊 嘉二郎 委員

副委員長 小 川 順 弘 委員

委 員 鴨 下 明 子 委員 橋 田 壤 志 委員

松 本 敏 朗 委員 沼 崎 明 大 委員

天 野 建 司 委員

欠席委員 2人

小 宮 貴 大 委員 本 間 紀 行 委員

市長 西 岡 真一郎

事務局職員

企画政策課長 三 浦 真

企画政策課企画政策係長 古 賀 誠

企画政策課企画政策係主任 高 野 修 平

企画政策課企画政策係主事 齋 藤 彬 子

傍 聴 者 0人

(午後6時55分開会)

◎三浦企画政策課長 ただいまから第1回小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会を開催します。本日は、お忙しいところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。委員長が選任されますまで、司会進行をつとめさせていただきます企画政策課長の三浦と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、次第に従いまして進行をさせていただきます。初めに、依頼状の交付を小金井市長西岡より行います。委員の皆様は自席でお待ちください。

◎西岡市長 では、依頼状を交付させていただきます。よろしくお願いいたします。

(依頼状の交付)

◎三浦企画政策課長 以上で依頼状の交付を終了いたします。なお、委員の任期につきましては、今読み上げましたように、本日から平成30年3月31日までとなっております。よろしくお願いいたします。

次に、小金井市長から一言、ご挨拶を申し上げます。

◎西岡市長 皆様こんばんは。小金井市長の西岡真一郎でございます。本日はお忙しいところ

お集まりいただきまして誠にありがとうございます。私は昨年12月18日に小金井市長に就任させていただきました。おかげさまで7か月が経過したところです。この間、公共施設、財政改革、子育て支援などなど、さまざまな課題に取り組んでいるところでございます。

ただいま、皆さんに「小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会」の委員をお願いさせていただきました。委員の方々を拝見しますと、さまざまな立場の方がご参加いただいておりますので、あらゆる角度からの有意義な議論になるのではないかと楽しみにしております。まち・ひと・しごと創生というのは、人口減少問題の克服や地域の活力の維持ということを目指すものですが、どちらかというと、地方にその中心があり、小金井市を含む東京都はまだ他人事であると感じる方が多いかもしれません。しかし、実際、人口について言えば、小金井市は現在、若干人口は増え続けるものの、都心からも近く、中央線沿線という、立地に恵まれているにも関わらず、今後当市においても、数年後には人口という特性のピークがきて、減少に転じることは避けられない状況となっております。このように人口減少自体を食い止めることはなかなか難しい以上、できるだけ減らないようにするためにはどうすれば良いのかという検討が重要になります。市では平成28年3月に「小金井市人口ビジョン 小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。今後はPDCAサイクルに基づく施策の検証が必要であり、そのためには幅広い世代の方々の多様なご意見が必要だと考えています。みなさんには、日頃感じることなど、率直な意見を出していただくとともに、闊達なご議論をいただいて、小金井市の活力ある未来へ向けてのご提言を頂戴できますことを期待申し上げまして冒頭のご挨拶とさせていただきます。短い期間での検討となり恐縮ではございますが、どうぞよろしくをお願いいたします。

◎三浦企画政策課長 本日は初めての委員会ですので、恐縮ではございますが、委員の皆様から自己紹介を頂戴できればと思います。仕事の関係でもこの委員会に寄せる思いでも何でも結構ですので、よろしくをお願いいたします。

◎鴨下委員 初めまして。鴨下と申します。小金井市で生まれ育って、今はスターバックスコーヒージャパン株式会社、白金高輪店で店長をしております。今回このような機会をいただいて光栄なんですけど、一市民としてというところで何かお力になることができればと思っております。学ばせていただくことも多いかと思いますが、よろしくをお願いいたします。

◎橋田委員 初めまして。橋田と申します。私は逆に小金井市に引っ越してきてから1年経っていないぐらいですけど、逆にそういう面で、他の自治体と比べてどうかという視点で意見を言えたらと思っております。よろしくお願ひします。

◎松本委員 松本です。生まれは鳥取県の米子市になりますが、10年ほど前に小金井市に引っ越してまいりました。たいへんいい町だなと思居を構えたわけですが、何か聞くとところによるとこれから人口が減っていく、どうしようと言ったような危機が迫っているというような話を聞きまして一生懸命勉強して委員に応募してみたところでありまして。あまり大した能力もないところですが、皆さんと力を合わせてやっていきたいと思っております。どうぞよろしく

お願いします。

◎**沼崎委員** 皆さんこんばんは。多摩信用金庫の沼崎と申します。生まれは国立市で、今は国分寺市に住んでおります。今まで2年間は創業支援ということで、創業される方の支援を行ってまいりました。金融機関でございますので、そういった視点から何かお役に立てればと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いします。

◎**小川委員** こんばんは。小川と申します。小金井市にはいろいろお世話になっておりまして、ついこの前まで小学校の校長として小金井市に16年間お世話になっておりました。今は帝京短期大学の教授として、小金井で学ばせていただいたことをいろいろと学生たちに教えております。教えるといえば、日本の教育が今輸出されるということで、モンゴルの大学の客員教授もしております、日本の特別活動ですとか学校教育のことについてお互いに意見交換したり、向こうの先生に教えたりというようなことをしております。小金井のよさをいろんな面で私は知っているつもりですけれども、それをさらによくするために皆様方と力を合わせながら一緒に考え、具体的に市長の思いを具現化していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

◎**渡邊委員** 梶野町にある法政大学の理工学部で45年間勤めまして、今はリタイアして名誉教授ということらしいんですけど、雇用契約も何もないんです。45年間も小金井市に職場がありましたので、小金井に住み始めたのは38歳からで結構長いです。東京には54年間住んでいます。生まれは岩手県北上市というところですよ。小金井の桜は北上市の展勝地というところに100年前に移植したという過去もあり、そういった意味では小金井と結構関わりがあると思っております。また、前年度にはまち・ひと・しごと創生総合戦略等検討委員会に参加させていただきました。それから皆さんのお手元にあります小金井しあわせプランの第4次小金井市基本構想・後期基本計画のこの策定に当たってもメンバーの一員として参加させていただきました。リタイアしたといえども、まだ小金井に法政大学のキャンパスもございますので、できることは何でもしたいと、そんな思いでございます。よろしくをお願いします。

◎**天野委員** こんばんは。企画財政部長の天野です。よろしくをお願いします。本来でしたら事務局ということなんですけど、委員ということで加えていただきまして、ありがとうございます。小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会ということで非常に長い名前なんですけど、国の方も非常に力を入れてございまして、昨年のは平成27年度は地方創生元年ということで国の方が言うておまして、急速な少子高齢化に伴って人口の減少どう歯止めをかけるかということで非常に国の方は法律もつくって地方に対して計画をつくりなさいということで私どもも計画をつくったわけでございます。小金井市はまだ人口も幸いにも増えているという状況なので、なかなかピンとこない部分はあるんですが、ただ確実に日本全体で人口が減っていることからすると、いずれは小金井市でも人口が減ってくるということになります。また、生産年齢人口と言われる15歳から64歳の方々の割合が減ってくるということになると社会全体がだんだん縮小に向かっていくということが現実的にあるわけで、そういった課題に目を背けず、

今から準備をして次世代に対して責任を持って小金井市として取り組んでまいりたいと思いますので、皆さんもよろしく願いいたします。

◎三浦企画政策課長 ありがとうございます。なお、本日欠席をされてございますけれども、委員名簿の4番、小金井市商工会から本間委員、6番、連合三多摩を選出母体に小宮委員が就任されております。次回以降にご挨拶を賜ればと思っております。

続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。まず私は冒頭ご挨拶をさせていただきました企画政策課長の三浦と申します。よろしく願いいたします。

◎古賀企画政策係長 企画政策係長の古賀と申します。よろしく願いいたします。

◎高野企画政策係主任 事務局をいたします企画政策課の高野と申します。よろしく願いいたします。

◎齋藤企画政策係主事 同じく事務局をさせていただきます企画政策課の齋藤と申します。どうぞよろしく願いいたします。

◎三浦企画政策課長 事務局につきましてはこの4名で担当してまいります。今後ともよろしく願いいたします。

ここでたいへん恐縮ではございますが、市長におきましては他の公務のため退席させていただきます。

(市長退席)

◎三浦企画政策課長 それでは、ここでお配りしております資料のご確認をお願いします。次第のほかに資料一覧がございますとおり、資料1から3及び参考資料をお配りしております。過不足等がないかご確認をお願いいたします。

◎三浦企画政策課長 次に、委員長の互選について議題とします。資料1の小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会設置要綱第5条第3項におきまして、「委員長は、会務を総理し、委員会を代表」し、委員会にあつては議事進行等を行っていただくこととなっております。また、第2項におきまして「委員長は、委員の互選によって定める」となっておりますけれども、選出方法について何かご意見がある方がいらっしゃいましたら、お願いします。

◎沼崎委員 推薦はいかがでしょうか。

◎三浦企画政策課長 推薦というお声がけをいただきました。それでは、どなたかご推薦がありますか。

◎沼崎委員 小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等検討委員会でも委員長を務められた渡邊委員にお受けいただけないでしょうか。

◎三浦企画政策課長 ただいま渡邊委員をご推薦いただく声がありました。皆さん、いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎三浦企画政策課長 ありがとうございます。ご異議ございませんので、委員長互選につつま

しては、渡邊委員を選出することと決定しました。それでは渡邊委員、委員長席へご着席いただき、就任のご挨拶をお願いいたします。

(渡邊委員、委員長席へ移動)

◎**渡邊委員長** 先ほども申しましたが、小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等検討委員会でも委員長を、また小金井市長期計画審議会でも会長をやらされましたので、まあもういいかなと思うところはあるんですが、皆様のご支援で楽しい委員会を目指してやりたいと思います。事務局が非常に優秀ですから、私は安心して委員長をやりたいと思います。皆さん、よろしくをお願いします。

◎**三浦企画政策課長** ありがとうございます。それでは、これからの議事進行につきまして委員長と交代したいと思います。よろしくをお願いいたします。

◎**渡邊委員長** では、委員長として、以後の議事進行に当たらせていただきます。続けて、副委員長の互選に入ります。副委員長についても先ほどの設置要綱第5条において、委員の中から互選することとなっておりますが、選出方法について何かご意見がありますでしょうか。

◎**沼崎委員** 副委員長についても推薦はいかがでしょうか。

◎**渡邊委員長** 推薦ということですが、いかがでしょうか。どなたかご推薦がありますか。

◎**沼崎委員** 小川委員にお受けいただけないでしょうか。

◎**渡邊委員長** 今、小川委員のご推薦がありました。みなさん、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎**渡邊委員長** それでは、副委員長互選につきましては、小川委員を選出することと決定しました。小川委員には副委員長ということで、助けてもらいながらやっていきたいと思います。それでは小川委員、副委員長席へご着席の上、就任のご挨拶をお願いします。

(小川委員、副委員長席へ移動)

◎**小川副委員長** 小金井に生活しておりまして、市民の方のレベルの高さにはいつもびっくりするところがあります。この会議もやはり実質的なところはまだ始まっておりませんが、面々を見させていただくとほんとうにいい会議になるんだろうなと感じております。よろしくをお願いいたします。

◎**渡邊委員長** それでは議題3「委員会の運営等について」を議題とします。ここでは、会議録の作成方法等を決めておきたいと思います。事務局より説明をお願いします。

◎**古賀企画政策係長** それでは、資料2-1「委員会の運営等について(案)」をご覧ください。委員会の開催の前提としまして、この資料2-1の4つの項目について、説明させていただきます。

まず、1「会議録作成の基本方針等」についてです。会議録の作成方法については、①全文記録、②発言者の発言内容ごとの要点記録、③会議内容の要点記録の3種類がございます。各

種会議等においても全文記録が多いことから、本委員会におきましても全文記録といたしたいというのが事務局（案）でございます。なお、ご発言に際し、会議録作成のため、必ず最初に氏名を述べるようにお願いします。また、会議録作成の流れですが、速記会社がテープ起こしをしましたら、事務局の方で基本的な校正を行います。その上で、委員の皆さまに校正原稿をメール送信又は郵送しますので、校正等がありましたら、メール又はFAXで事務局までお送りください。事務局で校正の上、会議録は、委員長にご一任いただいて決定とし、公開させていただきます。

次に、2「会議の公開」の部分ですが、小金井市市民参加条例第6条の規定により、附属機関等の会議は公開となります。

また、3「会議の傍聴」については、「小金井市付属機関等の会議に関する傍聴要領」に沿って、会議は公開とさせていただきます。

続いて、4「意見・提案シート」の設置について説明いたします。資料2-2「意見・提案シート」をご覧ください。「意見・提案シート」は、傍聴環境の整備に関しまして、傍聴者の意見を積極的に反映できるようにするためのものです。傍聴にいらっしゃった方に、資料と一緒に配付し、意見がある方から事務局に提出してもらおうというものでございます。現在、市のいくつかの会議では、このような傍聴者の方のご意見をいただくものを扱っております。本委員会においても、この「意見・提案シート」を導入したいというのが事務局（案）でございます。また、「意見・提案シート」の提出があった場合の取扱いですが、記名があった場合は氏名も含めて原文のまま会議録と併せて配付資料として公開し、無記名だった場合は参考資料として委員へ配付することとしたいと考えております。基本的な位置づけとしましては、意見・提案シートを議題として取り上げるかについては、みなさんでのご協議により、判断いただくこととなります。また、期日との関係ですが、会議開催の1週間前までに届いたものは事前配付資料として委員の皆様へ送り、それ以降に届いたものはできるだけ当日配付資料とすることとしたいと考えております。説明については以上です。

◎渡邊委員長 事務局から説明がありました。会議録は全文記録にしたい、また会議は公開となり、今日はいませんが、傍聴希望者がいれば傍聴していただくと、さらに傍聴に来られた方から意見・提案シートを出していただくというようなことが事務局から提案されました。従来こういったやり方で行っているということですが、事務局から説明いただいたとおりでよろしいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎渡邊委員長 それではそのように決定したいと思います。

◎渡邊委員長 続きまして、議題4「人口ビジョン及び総合戦略の概要について」に入ります。本題に入るわけですけど、今日のこの委員会は概要を伺って、何がどこまで進んでいるか、あるいはこうしたらいんじゃないのというようなことを伺う委員会になると思うので、まずは

事務局からの説明を伺うということになると思います。では、事務局の方から説明をお願いします。

◎古賀企画政策係長 それでは、「小金井市人口ビジョン 小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」をご覧ください。

まず初めに目次をご覧くださいと思いますが、4部構成になっておりまして、第1部が人口ビジョン及び総合戦略の策定についての総論、第2部が人口の分析やまちの分析、人口の将来展望を記載した小金井市人口ビジョン、第3部が基本目標や具体的な施策を掲げた小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略、第4部が推進体制となっております。

2ページをご覧ください。「1 策定趣旨」でございますが、国において、まち・ひと・しごと創生法が制定され、本市においても長期的には人口減少が予想される中で、国及び都が策定する総合戦略を勘案しつつ、人口の現状と将来の展望を示した小金井市人口ビジョンと、地域の実情に応じた今後5か年の施策の方向を示す小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するものでございます。対象期間につきましては、「2 策定内容」に記載してございますとおり、人口ビジョンが平成27年度から平成32年度まで、総合戦略が平成27年度から平成31年度までの5年間となります。

次に、第2部小金井市人口ビジョンでございます。21ページをご覧ください。本日、皆さんにお配りしております第4次基本構想・後期基本計画における住民基本台帳に基づく人口推計となり、「小金井しあわせプラン」の19ページでは、2030年までの人口推計を示しておりますが、その条件に基づき、2060年までの人口推計を行っております。この推計によりますと、人口は、平成35年の約12万人をピークとして減少し、2060年の人口は約10万人程度と推計しています。また、22ページに記載しておりますが、2060年の高齢化率は約34%となり、生産年齢人口や年少人口は減少する見込みとなっております。この将来推計については、あくまでも今後、何の対策も講じなければ、推計のように減少していく可能性があるものをご理解いただければと思います。49ページをご覧ください。人口の将来展望ということで、人口やまち等の分析から見た今後の課題としまして、若年層の転入維持・転出抑制、子育て世代の住みやすさの向上、暮らしを支える産業の振興、高齢化の進行への対応、といった4点をお示しさせていただいています。54ページをご覧ください。こうした4つの課題を踏まえ、人口減少の影響を回避又は遅らせるために、出生率向上に関係する若年層や子育て世代の定住が促進される、子どもを産み育てやすいまちを目指していくことや、生産年齢人口を維持し、地域経済を活性化させていくために、転入を維持していく、住みやすい・住んでみたいまちを目指していくことを将来の展望としてございます。そして、将来展望を実現するための3つの視点を掲げ、この視点で総合戦略を策定しております。

次に、第3部小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略でございます。56ページをご覧ください。人口構成を適正に保ちながら、小金井市らしい地域経済の持続的な発展を目的として、人口ビジョンで示された課題や、国及び都の総合戦略も踏まえつつ、3つの基本目標を掲げて

います。「小金井の魅力を発信し、交流人口の増加を図ることにより、地域の活性化につながるまち」「多様な働き方ができ、安心して結婚・出産・子育てできるまち」「時代に合った地域をつくり、安全・安心に暮らせるまち」の3つでございます。58ページ以降に、この3つの基本目標に基づき展開する施策や取組を提示しております。また、基本目標ごとに実現すべき成果に係る数値目標や、施策ごとに重要業績評価指標（KPI）を設定しております。今後、各委員の皆様方にPDCAサイクルを通じて総合戦略について客観的な効果検証を行っていただくこととなります。

続きまして、資料3-3「まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート（委員記入用）」をご覧ください。基本情報欄は総合戦略で設定した基本目標、基本的方向、指標、担当課及び指標の説明欄となっております。重要業績評価指標欄は平成26年度のいわゆる総合戦略開始時の数値、平成31年度の目標値、当該年度末の実績値、実績値に対する評価、結果の説明、次年度に向けての課題・展望、委員の評価及び委員の意見となっております。実績値に対する評価についてはAからDまでの4段階評価とし、平成31年度の目標値に到達している場合はA、到達していないものの平成26年度と比較して数値が上昇している場合はB、平成26年度と同一の場合はC、平成26年度より数値が下降している場合はDとしています。ここまでの部分につきましては各事業所管の担当課におきまして作成済みでございます。

次に、ここからが委員の皆様方に作業をお願いする部分となります。併せて「まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る評価シートの作成について（依頼）」をご覧ください。作業対象につきましては評価シート1から38までの38シートとなります。なお、1は実績値が8月下旬頃に出るため、25は2と重複するため、作業は不要です。作業内容につきましては、事業ごとに担当課が作成した部分を参考に、委員の評価として、よい場合は○、普通の場合は△、悪い場合は×とし、その評価にした理由をお書きください。理由欄については、△「普通」の場合は任意ですが、○「よい」もしくは×「悪い」の場合は必須となります。次に提出方法についてです。電子データと紙ベースの2つの方法がございます。電子データでのご提出をご希望される場合は事務局へメールをお送りください。後日、希望された方へ電子データのフォーマットをお送りします。対象事業につきましては評価及び理由欄を入力の上、電子データで事務局までご提出ください。次に紙ベースでのご提出をご希望される場合は、本日配付させていただいております用紙に直接記入の上、持参又は郵送にて事務局までご提出ください。なお、提出期限ですが、いずれの場合も8月15日月曜日まで、郵送の場合は必着とさせていただきます。次回の委員会では委員の皆様からご提出いただいた評価シートを元に検証を行っていただきたいと思っております。説明については以上です。

◎渡邊委員長 事務局から説明がありました。何をやらないといけないかということ、まず評価シートに○、△、×を付けて、○又は×の場合にはその理由を書きいただきたいということのようです。委員会で揉むというよりは、どちらかということと自宅でがんばってもらい、それを持ち寄ってこの委員会で議論するということになるかと思っております。何かこの評価シートにつ

いてご意見とかご質問等がございますか。何かございましたら事務局までご連絡していただければと思います。

◎**渡邊委員長** 次に、議題5「全体のスケジュール等」について、事務局からの説明をお願いします。

◎**古賀企画政策係長** それでは、全体のスケジュールについて説明いたします。今年度につきましては、本日を含めまして、計3回、具体的には第2回を9月1日の木曜日もしくは2日の金曜日、第3回を9月下旬に開催したいと考えております。第2回の日程につきましては、のちほど調整させていただきたいと思います。委員会の内容につきましては、本日の第1回は「小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の説明となり、第2回及び第3回では総合戦略における平成27年度末の各事業の実績値を踏まえた検証を行っていただきたいと考えております。以上がスケジュールでございます。お忙しい中での、タイトなスケジュールとなり誠に恐縮ではございますが、よろしく願いいたします。

◎**渡邊委員長** 事務局から説明がありました。ご意見はありますか。ないようので、概ねこのスケジュールで進めていきたいと思っております。

◎**渡邊委員長** では、議題6「次回の開催日」について、事務局から説明をお願いします。

◎**三浦企画政策課長** 次回の日程ですが、いくつか候補日を示させていただき、その中から決められればと考えております。候補日としては、9月1日木曜日又は9月2日金曜日を考えております。また、開始時間については、本日は第1回目ということで19時開始にさせていただきました。もし皆さんのご都合がよろしければ30分前倒し、18時というのは難しいと思いますが、そのような形で開始時間を早めることも可能と考えておりますが、いかがでしょうか。

◎**渡邊委員長** それでは、日程調整を行いますので、会議録はいったん休憩にします。

(休憩)

◎**渡邊委員長** それでは、再開します。今回は、9月2日金曜日18時30分から、場所は開催通知にてお知らせいたします。以上で本日の議題はすべて終了しました。おつかれさまでした。

(午後7時38分閉会)